

平成 20 年度
鉄道局関係予算配分概要

目 次

- I. 平成 20 年度鉄道局関係予算配分方針 1
- II. 平成 20 年度予算配分総括表 2
- III. 事業別概要 3
- IV. 予算配分概要 5

平成 20 年 4 月

I. 平成20年度鉄道局関係予算配分方針

平成20年度鉄道局関係予算の配分に当たっては、厳しい財政事情の下、他分野の事業による施策との連携等も進めながら、鉄道整備に対する要請に的確に応えるため、以下の主要分野を重点に配分を行うこととする。

[主要施策への配分状況]

(単位：百万円)

主要分野	鉄道局の主要施策	配分額	前年度比
1. 国際競争力の強化と地域の活性化	整備新幹線の整備、都市鉄道の整備、地域の活性化に資する幹線鉄道の整備等、国際物流に対応する貨物鉄道輸送力の増強		
	(1) 整備新幹線の整備	306,946	1.164
	(2) 都市鉄道・幹線鉄道の整備等	138,022	0.948
	(3) 北九州・福岡間鉄道貨物輸送力の増強	957	8.200
2. 地球環境問題と少子高齢化への対応	鉄道駅のバリアフリー化		
	鉄道駅におけるエレベーターの整備等	7,200	1.000
3. 国民の安全・安心の確保	鉄道施設の総合安全対策		
	(1) 地下駅の火災対策等	5,234	0.769
	(2) 鉄道施設の老朽化対策	201	皆増
合計		458,560	1.083

(注) 事業費ベースである。

Ⅱ. 平成20年度予算配分総括表

[事業費]

(単位：百万円)

区 分	配分対象額				倍 率 (B/A)	配 分 額			未計画額	備 考
	前年度 (A)	20年度				本省配分	一括配分	計		
		本省配分	一括配分	計(B)						
整備新幹線整備事業	263,700	306,946	0	306,946	1.164	306,946	0	306,946	0	
都市・幹線鉄道整備事業	159,783	151,614	0	151,614	0.949	151,614	0	151,614	0	
鉄道駅移動円滑化施設整備事業費補助	7,200	7,200	0	7,200	1.000	7,200	0	7,200	0	
鉄道防災事業費補助	880	752	0	752	0.855	752	0	752	0	
鉄道施設総合安全対策事業費補助	5,930	4,683	0	4,683	0.790	4,683	0	4,683	0	
幹線鉄道等活性化事業費補助	8,908	7,706	0	7,706	0.865	7,706	0	7,706	0	
都市鉄道利便増進事業費補助	2,400	4,599	0	4,599	1.916	4,599	0	4,599	0	
都市鉄道整備事業費補助	130,460	121,049	0	121,049	0.928	121,049	0	121,049	0	
鉄道駅総合改善事業費補助	4,005	5,625	0	5,625	1.404	5,625	0	5,625	0	
計	423,483	458,560	0	458,560	1.083	458,560	0	458,560	0	
保留額	0	0	0	0	—	0	0	0	—	
合計	423,483	458,560	0	458,560	1.083	458,560	0	458,560	0	

- (注) 1. 事業費ベースである。
 2. 事業は全て補助事業である。
 3. 前年度は19'当初配分額である。

Ⅲ. 事業別概要

1. 国際競争力の強化と地域の活性化

個性と工夫に満ちた地域社会の活性化等のための円滑な人の交流の実現を目指し、整備新幹線の整備、地域の活性化に資する鉄道活性化、空港アクセス鉄道の整備を進めるとともに、国際競争力の強化に資する交通インフラを整備する観点から、国際物流に対応する貨物鉄道の輸送力の増強等を進める。

- ① 国土の骨格を形成する高速交通機関の整備のため、平成16年12月の政府・与党申合せに基づく整備新幹線の着実な整備に対し所要額を配分。
- ② まちづくりや地域の活性化に資する幹線鉄道的高速化を図ることにより、既存ストックを最大限有効に活用した効率的な鉄道整備に対し所要額を配分。
- ③ 世界の主要空港に比肩し得る空港アクセス鉄道の整備に対し所要額を配分。
- ④ 増加する東アジアとの国際物流に対応し、北九州・福岡間の貨物鉄道の輸送力の増強に対し所要額を配分。

快適でゆとりのある都市生活を実現するため、都市機能を支える都市鉄道の整備を進める。

- ① 既存ストックを有効活用し、都市鉄道の利便の増進を図るため、連絡線等の整備による速達性の向上、周辺整備と一体的な駅整備による交通結節機能の高度化に対し所要額を配分。
- ② 通勤・通学時の混雑緩和、都市内交通の混雑解消に向け、地下鉄等都市鉄道の整備に対し所要額を配分。
- ③ 鉄道相互間等の乗継円滑化やまちづくりと一体となった鉄道駅の総合的な改善等による交通結節点の整備に対し所要額を配分。

2. 地球環境問題と少子高齢化への対応

物流の効率化、環境対策の推進を図るため、モーダルシフトに資する貨物鉄道の整備を進める。

増加する東アジアとの国際物流に対応し、北九州・福岡間の貨物鉄道の輸送力の増強に対し所要額を配分。【再掲】

鉄道を利用する高齢者、障害者をはじめとした移動制約者等の移動の円滑化を図るため、バリアフリー化を進める。

平成22年度までに1日当たり乗降客数五千人以上の駅について原則全てをバリアフリー化するため、鉄道におけるエレベーター等の整備に対し所要額を配分するとともに、1日当たり乗降客数五千人未満の駅についても、交通、観光の拠点性が高く、地域の強い要望があり、地元の協力を得られる駅のエレベーター等の整備に対し所要額を配分。

3. 国民の安全・安心の確保

防災・減災や輸送の安全性の向上等による安全・安心の確保を図るため、駅の耐震補強や地下駅火災対策等のための施設整備を進める。

地震などの自然災害、火災、劣化等による鉄道施設の被害の未然防止や拡大防止のため、列車の安全運行並びに利用者の安全確保を目的とした鉄道施設の整備に対し所要額を配分。

IV. 予算配分概要

区 分	線 名 等	事業費	備 考
整備新幹線整備事業	北海道新幹線(新青森～新函館)	17,800	
	東北新幹線(八戸～新青森)	70,000	
	北陸新幹線(長野～金沢(白山総合車両基地))	90,600	
	北陸新幹線(福井駅部)	500	
	九州新幹線(博多～新八代)	127,046	
	九州新幹線(武雄温泉～諫早)	1,000	
	計	306,946	
都市鉄道整備事業		121,049	
地下高速鉄道整備事業	札幌市(大規模改良、耐震補強)	1,911	
	仙台市(東西線、大規模改良)	4,707	
	東京都(大江戸線、大規模改良、耐震補強)	46,268	
	横浜市(4号線)	568	
	名古屋市(6号線、大規模改良)	4,762	
	大阪市(大規模改良)	1,401	
	中之島高速鉄道(株)(中之島線)	24,381	
	西大阪高速鉄道(株)(西大阪延伸線)	20,285	
	東京地下鉄(株)(大規模改良)	397	
	計	104,679	
空港アクセス鉄道等整備事業	成田高速鉄道アクセス(株)(成田高速鉄道アクセス線)	15,437	
	横浜市(4号線)	933	
計	16,370		
都市鉄道利便増進事業	相鉄・JR直通線 相鉄・東急直通線 神戸高速鉄道(株)(阪神三宮駅)	2,250 495 1,854	
計	4,599		
幹線鉄道等活性化事業	瀬戸大橋高速鉄道保有(株)(宇野線・本四備讃線)	878	
	北勢線施設整備(株)(北勢線)	274	
	大阪外環状鉄道(株)(大阪外環状線)	4,938	
	北九州貨物鉄道施設保有(株)(北九州・福岡間鉄道貨物輸送力増強)	957	
	神戸高速鉄道(株)(尼崎駅他乗継円滑化)	625	
	北勢線施設整備(株)(西桑名駅乗継円滑化)	35	
計	7,706		
鉄道駅総合改善事業	蒲田開発事業(株)(京浜急行電鉄京急蒲田駅)	1,100	
	日暮里駅整備(株)(京成電鉄日暮里駅)	3,600	
	江古田駅整備(株)(西武鉄道江古田駅)	400	
	野方駅整備(株)(西武鉄道野方駅)	242	
	北大阪急行電鉄(株)(阪急電鉄西宮北口駅)	250	
	第三セクター(西武鉄道椎名町駅)	33	
計	5,625		
鉄道駅移動円滑化施設整備事業	交通エコロジー・モビリティ財団 (JR東日本:東鷲宮、国分寺) (JR東海:掛川、六合、新居町、共和、笠寺、垂井、清洲) (JR西日本:稲荷、新田、京橋、摂津富田、三国ヶ丘、平野、星田、六十谷、甲子園口、宝殿、上郡、中庄、新井口) (名鉄:江南、犬山、岩倉、国府宮、西春) (近鉄:河内山本、大和西大寺) (南海:貝塚) (阪急:大山崎、富田、庄内、石橋、関大前、水無瀬) (箱根登山:箱根湯本駅) しなの鉄道(株)(上田駅) 北大阪急行電鉄(株)(桃山台駅)	6,965	
	計	7,200	
		69	
		166	

区 分	線 名 等	事業費	備 考
		百万円	
鉄道防災事業	北海道旅客鉄道(株)(根室線、日高線、室蘭線、函館線)	189	
	四国旅客鉄道(株)(予讃線、土讃線、徳島線、予土線、牟岐線)	120	
	九州旅客鉄道(株)(肥薩線、筑肥線、豊肥線、指宿枕崎線、大村線)	127	
	鉄道建設・運輸施設整備支援機構(青函トンネル)	317	
	計	753	
鉄道施設総合安全対策事業		4,683	
(地下駅火災対策)	札幌市(南北線) 東京都(浅草線、三田線) 名古屋市(2号線、4号線) 大阪市(御堂筋線、谷町線、四ツ橋線) 東京地下鉄(株)(銀座線、丸ノ内線、日比谷線、東西線、千代田線、半蔵門線) 神戸高速鉄道(株)(東西線、南北線) 東京急行電鉄(株)(田園都市線) 阪急電鉄(株)(京都線)	156 708 383 179 629 960 176 410	
	計	3,600	
(鉄道駅耐震補強)	京成電鉄(株)(千葉線：京成千葉駅、本線：千住大橋駅) 小田急電鉄(株)(小田原線：新宿駅、代々木上原駅、本厚木駅) 京浜急行電鉄(株)(本線：品川駅) 東京急行電鉄(株)(池上・多摩川線：蒲田駅) 東京地下鉄(株)(千代田線：綾瀬駅) 北総鉄道(株)(北総線：東松戸駅、新鎌ヶ谷駅) 南海電気鉄道(株)(本線：尾崎駅、高野線：金剛駅) 大阪府都市開発(株)(泉北高速鉄道線：光明池駅) 阪神電気鉄道(株)(本線：千船駅) 京阪電気鉄道(株)(本線：樟葉駅) 阪急電鉄(株)(京都線：正雀駅、長岡天神駅) 近畿日本鉄道(株)(京都線：近鉄丹波橋駅、京都駅、名古屋線：近鉄四日市駅)	150 108 18 78 42 60 42 87 60 30 135 72	
	計	882	
(老朽化対策)	伊豆急行(株)(伊豆急行線)	201	
	計	201	

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているもので、端数において計とは一致しない場合がある。